

最新事情

人間力を高めるキャリア支援で、
学生の強みを生かし、課題を克服する

佛教大学

(京都府京都市)



佛教大学のマスコットキャラクター「ぶったん」。開学100周年の際に誕生。オープンキャンパスや学祭などのイベントでも大活躍

平成24年に開学100周年を迎えた佛教大学。開学以来、仏教精神に根ざした人間教育に力を入れている。ここ数年、新たな体制で取り組んでいるのがキャリア支援だ。社会において人間力を発揮できる人材の育成を大きな狙いとしている。キャリア支援を主導する進路就職課では資格・講座サポートコーナーを設置し、学生の進路に合った資格や検定の取得もサポート。同学の資格取得を含めた就職支援の取り組みをレポートする。

就職活動を意識して、 大学生活を送ってほしい

佛教大学は、4年前に開学100周年を迎えた歴史ある大学だ。仏教学部、文学部、歴史学部、教育学部など全部で七つの学部を擁し、約7000人が専門の学びを深めている。その学びの拠点となっているのが、京都市北区にある紫野キャンパスだ。近くに金閣寺や北野天満宮など、京都を代表する観光名所が点在するため、外国人観光客の姿が目立つ。

校名を見れば分かるように、同学の教育の根幹にあるのが仏教の教え。「教育・研究のあらゆる場面を通じ、自己を究め、共に生き、他を支える人間性を育てる」ことを目指し、教養

科目や専門科目を通してさまざまな知識を得るとともに、学生が自分自身をしっかりと見つめ、自身の在り方に目覚めることを重視している。

そうした仏教の教えに根ざした教育は、キャリア開発やキャリア形成にも根付く。キーワードは「人間力」。困難な状況に立ち向かい解決できる力、自己実現が図れる力、社会の中で自らを生かしていく力。これらを人間力とし、着実に身に付けられるよう、さまざまな取り組みを実施している。

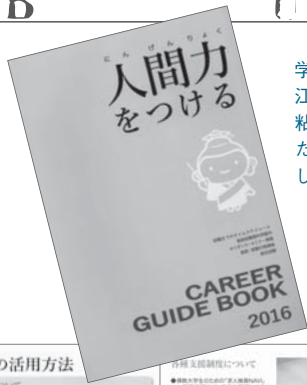
同学のキャリア支援を主導するのは、学生支援部の進路就職課だ。同課の本城江理課長にキャリア支援の目的と内容を伺った。

「本学のキャリア支援の大きな目的は、社会において人間力を発揮できる人材を育てることです。そのために、入学後の早い時期から働くことの意義や、卒業後の進路や方向性を考えることの重要性を伝える機会を数多く設けています。」

代表的なのが『キャリアガイダンス』です。1回生の4月と、2回生の9月に実施しています。特に大きな意味を持つのが、1回生のガイダンス。授業や学外活動に励むことの大切さや、将来のキャリアを意識して大学生活を送ることの重要性を伝えていきます。「働くこと」などの職業に就きたいのかなどについて真剣に考えます。そうした思考力を早いうちから養う必要があります。ただ漠然と4年間を過ごすのでは



仏教の教えを根拠とした教育を目指す佛教大学。通信教育も充実している



学生支援部進路就職課の本城江理課長。「佛教大生は素直で粘り強い気質があります。そうした強みを生かして、社会で活躍してほしいですね」



進路就職課。企業の資料や求人情報がずらりと並ぶ(上)。進路就職課が入る1号館(右)



「CAREER GUIDE BOOK2016」(進路就職課発行)では、就職までの流れや進路就職課の活用方法などが紹介されている



資格・講座サポートコーナーの風間由紀子さんは「毎日、たくさんの学生が資格や検定受験の相談に来ます。必要な資格や、勉強した方がよい検定はどれか。一人一人に合った資格・検定にチャレンジしてほしい」と話す



佛教大生の気質を伸ばし、課題を克服する

なく、力を入れてきたこと、努力したことが将来、学生それぞれの「人間力」につながることを意識して大学生活を送ってほしいものです」。入学後すぐにキャリアガイダンスを開催することで、学生は卒業後の進路、方向性に意識が向くのである。

同学では、キャリアガイダンスに限らず、キャリア形成のサポートプログラムの一環として、1回生から全学共通科目のキャリア科目が履修できる。今年度は8種類の科目が開講される予定で、経験豊富な現役社会人によるキャリア科目や、インターンシップ科目もある。

「こうした科目を積極的に履修してほしい」と語気を強める本城課長。その理由は学生の気質にある。

「本学の学生は、真面目でコツコツと努力するタイプが多いです。また粘り強く、途中で諦めない。芯の強さがあり、素直な学生が多いと感じています。素直で謙虚で実直。こうした気質は企業が求める人材でもあります。

ただし、積極性に欠ける学生も多いという課題もあります。「学業やサークルでの活躍をもっとアピールしたら？」と話す。「そんな話をしてもいいのですか？」と返ってくる。やっけて当たり前、できて当然だと思っているようです。謙虚なのはいいのですが、就職活動にお

いて、やり遂げたこと、成果を挙げたことをはじめ、さまざまな活動を通して得た「自分の魅力」として発信してほしいものです」。

アピール力の弱さは、就職活動を行う学生にとって大きな課題になる。そこで同学では回生別にさまざまなガイダンスやセミナーを実施。全学部共通のものもあれば、「企業」「教員」「福祉・保育」などの分野ごとに開講されているものもある。特に3回生からは開講数が多い「ビジネスマナー」「話し方セミナー」「自己表現ワークショップ」などを通じて、学生は「自分を表現すること」に慣れ、PRできる力を身に付けていく。

「こうしたガイダンスやセミナーに参加することで、発言力、伝える力、コミュニケーション力が着実に身に付きます。対象回生以外でも参加ができます。佛教大生の課題である自己PR力の弱さを克服することはもちろんですが、元々持っている素直さ、粘り強さ、実直さをさらに伸ばせるよう、ガイダンスやセミナーの内容を考え、工夫を凝らしています」。

キャリア教育に力を入れ、さまざまな取り組みを実施している同学。昨年度の就職率は94%と、取り組みは着実に成果を上げている。

「本学のキャリア支援は現在、改革の真っ最中ですが、今後さらに全学での取り組みを強化していきます」と意気込む本城課長。進路就職課の高い目標設定が、学生の進路を後押しする。



(左から) 社会学部3回生の松村友哉さんと、文学部3回生の浅沼優希さん。松村さんは秘書検定2級を、浅沼さんは2級と準1級を取得。秘書検定に限らず、他の資格や検定の勉強にも熱心に取り組んでいる。

どの業種、職種にも通じる 秘書検定は学んで損なし!

同学のキャリア支援の柱の一つとなっているのが、資格・講座サポートコーナーの存在だ。5年前に開設され、学生の資格取得や就職活動を支援する各種講座を開講している。「進路就職課に来たものの、何から始めればいいのか分からない」「資格や検定を取得したいけど、何を勉強すればいいか分からない」。このような学生の話聞き、それぞれの目的や進路にあった資格・検定、講座選びを手助けしてくれる。スタッフの風間由紀子さんはこう話す。

「〇〇講座を受けたい、〇〇の資格を取得したいと相談に来る学生もいますし、何を学べばよいか分からないという学生も来ます。そのときは必ず、受けたい講座は本当にその学生に適しているのか、今受講すべきなのかを確認しています。『こうなりたいたいから、この資格・検定を勉強したいのです』と明確な目標を持って受講しに来る学生は多くありません。学生が本当に学びたいこと、学ぶ必要があることに気付けるよう、導くことを常に意識しています。こちらが決めるのではなく、学生に決断させることが大切。学生のモチベーションを上げるためにも、そうした接し方を心掛けています」。

資格・講座サポートコーナーでは、50近い講座を開講している。中でも1位、2位を争うのが「秘書検定講座(2級コース)」。毎回、締め

切り前に定員に達する人気ぶりだ。

「秘書検定講座は全回生対象ですが、2回生と3回生が一番多いです。就職活動への意識が高まっている証拠だと思う」と風間さんは話し、こう続ける。「秘書検定では敬語やお辞儀、ビジネスマナー、接遇といった基礎、企業の仕組みや企業会計、財務の知識、文書の作成・ファインリング、スケジュール管理などのビジネススキルを学ぶことができます。多くの学生が就職活動が始まる前に、そうしたスキルを身に付けるべきだと考えています。また秘書検定を受講する学生はほかの資格や検定に挑戦する学生が多く、全ての基盤になる知識が学べると感じているようです」。

実際に秘書検定講座を受講した社会学部3回生の松村友哉さんと、文学部3回生の浅沼優希さんに話を聞いた。松村さんは今年2月に、三度目の挑戦で秘書検定2級に合格した。

「2回生のときに就職活動の準備をしようと思いついたのが資格・講座サポートコーナーです。相談する中で、業種関係なく使える秘書検定の内容を勉強したいと思い受講しました。しかし、講座以外で勉強の時間が取れずに不合格。二回目こそはと思えば勉強したのですが、あと少しのところまで再び不合格。三回目は勉強の計画を立て、書いては覚えてを繰り返しました。過去問題を解き確実に知識を身に付けてきました。合格したときは本当にうれしかったですね。三回も挑戦したのは、不合格のまま

はもったいないと思ったし、最後までやり切ったから。粘り勝ちです。諦めなくてよかった。自信にもなりました」と松村さんは満面の笑みを見せる。

浅沼さんは平成26年11月に2級を、翌年11月に準1級に合格。受験のきっかけはこうだ。

「私も、どの仕事に就いても使える知識が学べると思い挑戦しました。その狙い通り、すぐに使えるような一般常識をはじめとする知識を身に付けることができました。それに準1級の面接試験では、にこやかに丁寧に話す、美しい立ち居振る舞いやお辞儀をしっかり学ぶことができました。女子力も付いたと思います」と浅沼さんは目を輝かせ、「アルバイトの接客業では敬語が役に立っている」と話す。

コツコツと努力する姿勢、諦めずにやり切る力、粘り強さ。こうした学生の強みを伸ばし、課題を克服する同学のキャリア支援。進路就職課の挑戦はこれからも続く。



(上) 就職セミナー
(下) 就職面接の練習風景